

第11回各務原市地域公共交通会議 議事録

日 時	平成28年10月27日(木) 13:00~14:30
場 所	各務原市役所 産業文化センター 8階第1特別会議室
委 員 (敬称略)	<p>【出席】</p> <p>武藤 行儀 (岐阜乗合自動車株式会社)</p> <p>大野 収 (株式会社岐阜バスコミュニティ取締役社長)</p> <p>福田 英司 (東海旅客鉄道株式会社鉄道本部総務課課長代理)</p> <p>夫馬 康昌 (名古屋鉄道株式会社西部支配人室営業総務課長)</p> <p>岡本 朋大 (岐阜交通株式会社常務取締役)</p> <p>山田 健太郎 (岐阜県タクシー協会岐阜支部支部長)</p> <p>山田 芳喜 (社団法人岐阜県バス協会)(代理:松井 貞義)</p> <p>松田 吉彦 (株式会社岐阜バスコミュニティ労働組合執行委員長)</p> <p>川瀬 勝秀 (稲羽川島自治会連合会長)</p> <p>宝島 一雄 (鵜沼自治会連合会長)</p> <p>足立 千春 (子ども子育て会議委員)</p> <p>清水 孝子 (八木山地区生活支援ボランティア事務局員)</p> <p>二輪 昭宏 (中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画専門官)(代理:日比野 和仁)</p> <p>瀧瀬 英一 (各務原警察署交通課長)</p> <p>早崎 辰仁 (岐阜土木事務所管理監兼施設管理課長)(代理:川上 正治)</p> <p>津田 忠孝 (各務原市議会経済教育常任委員長)</p> <p>各務 英雄 (各務原商工会議所専務理事)</p> <p>倉内 文孝 (岐阜大学)</p> <p>磯谷 均 (各務原市副市長)</p> <p>【事務局】</p> <p>各務原市 産業活力部商工振興課</p>

- ・委員長あいさつ
- ・議事
  - ①「鵜沼市民サービスセンター」の新設に伴う路線改正について
  - ②「稲羽コミュニティセンター前」バス停の移設及び当該移設に伴う稲羽線の路線改正について
  - ③ふれあいタクシーの改正について
    - 運行エリアの拡大、停留所の新設について
    - 運行ダイヤに関する改正について
  - ④岐阜交通東部株式会社への「ふれあいタクシー」事業継承について
- ・報告
  - ①岐阜交通株式会社から岐阜交通東部株式会社への営業権の譲渡譲受について
  - ②乗降調査の結果について
  - ③「ふれあいバス等懇談会」の結果について
  - ④ふれあいバス路線におけるバス停新設について
  - ⑤ふれあいバスのバス停名称変更について
  - ⑥各務原東部線の再編について
- ・その他

## 委員長 挨拶

皆さんこんにちは。お忙しい中ご出席を頂きまして誠にありがとうございます。本日の議題は昨年10月に運行を開始いたしましたふれあいバスについて、この1年間の実証に基づきまして、改善点を何点か議題にさせていただきます。

私自身も朝、通勤の時に少し利用させて頂いておりますが、稲羽線で7:03というバスに乗って来るわけですが、以外にたくさんの方が、あのバスに13,4はいつも乗っておられるということで、皆さんに喜んでもらえるかなと感じております。高校生が非常に多くて12線の中でも10人近くの高校生がひしめいておるような状況でありまして、私みたいな年よりは5分か10分くらい前にバス停に行って待っておるわけですが、高校生の皆さんはバスと同時に見えになってスラッと乗って行かれるんで何でかなと思いましたら、スマホを利用してバス停のバスの到着時間が誰にも分かるというシステムを、実はそんなサービスも提供していたんだな、大変便利なツールがあって良かったなとそんな実感を持っております。

本日はどうぞよろしく願いいたします。

・議事①

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p>&lt;各務原警察署 瀧瀬&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ルートに関しては事前にお話いただいて問題ないかと思っているが、警察からの要望は、バスの出入り口に関して交差点の隅切りから一定の距離をとって頂かないと、死角の多いバスなので、出入りの時に危険が生じるということもあるので、今詰めていただいているという話だが、出入口に関してはイメージ図どおりではない計画でお願いしたい。</li> <li>● 隅切りから5m程度取っていただければ。あまりにも交差点の中に直近にバスが出る形ですと、後方確認に不安が生じるので、その辺検討いただきたいとのお願いだった。</li> </ul>	<p>&lt;事務局&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 庁舎の建て直しをしている課、設計会社など確認し、設計図面を入手し、実際交差点から5m以上離れているところもあるので、後ほど説明をさせていただきます。</li> </ul>

※委員からの質問や指摘事項は、なし

・議事②

意見
<p>&lt;岐阜バスコミュニティ 大野&gt;</p> <p>ルート変更に関しては、関係の皆さんと打合せしながら適切にやって来たと思っている。何せ狭い道を行くケースになるので、私共も市民の安全を第一に考えて、皆様の利便性を高めるようにやっていきたい。</p>
<p>&lt;各務原警察署 瀧瀬&gt;</p> <p>今のバスについては、私も現場に立ち合わせていただいている。ルートの的にも問題ないし、学校の通学路対策も適切にさせていただいて、ありがたい。</p>

※委員からの質問や指摘事項は、なし

・議事③

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p>&lt;岐阜運輸支局 二輪&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一つ確認。運行エリアの拡大は、道路走行による区域拡大という意味なのか、区域外の停留所が増えるという解釈で良いのか。</li> <li>● 拡大の中で、区域内で停留所を作るのは問題ないが、区域外の停留所に行くというのは乗車できないということがあるので、その部分が間違いがあると利用者には不便がかかるので十分注意を。</li> </ul>	<p>&lt;事務局&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 拡大する、路線バスで言うと路線が延びるのと同じ考えでいる。改めて協議が終わって、正式にOKが出たら、運輸局に申請をさせていただきます。</li> </ul>

<p>&lt;岐阜交通 岡本&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 運行ダイヤの改正は、当社ではダイヤの微調整で十分対応可能と考えている。また、新設する停留所に関しては、人の出入りが多い場所でもあり、利用者の利便性向上が十分に見込める場所である。乗務員であれば、誰もが分かっている場所だが、勘違いがないよう特に乗務員、受付センターの教育をしっかりとし、新しい運行ダイヤに臨む。また予約締め切り時間に関し、以前から要望の多かった項目であり、現場サイドで十分協議し、現状45分であれば大きな混乱も無く対応できるであろうと判断した。お客様の利便性向上に寄与できるものと思っている</li> </ul>	
---	--

※委員からの質問や指摘事項は、なし

・議事④・報告①

説明補足
<p>&lt;岐阜交通 岡本&gt;</p> <p>前回5月の公共交通会議において、当社では10月中旬頃に譲渡譲受の認可が下り、11月1日には新会社「岐阜交通東部株式会社」での運行をする予定だと言ったが、現在認可が間に合っていない状態で、新会社としての運行は11月20日頃を想定している。譲渡譲受の定義は前回の会議のとおりで、資料4-2にあるとおり、手続きを進めている。手続きは当初より多少遅くなってしまったが、順調に進んでおり、国土交通省からもお墨付きを頂いているので、問題なく行えるものと考えている。各務原エリアでは、11月20日頃に、岐阜交通グループ・岐阜交通東部株式会社として、タクシー営業を行う。それに伴って、ふれあいタクシー業務の運行も、岐阜交通東部株式会社で行わせていただく。なお新会社に移行しても、乗務員、運行管理に関する人員、電話番号、ふれあいタクシー予約サイトなど、一切運行体制に変更は無いのでお客様にご不便をかけるような事態は無いと思っているが、万全の体制をとっていく。</p>

※委員からの質問や指摘事項は、なし

・報告②

※委員からの質問や指摘事項は、なし

・報告③

意見
<p>&lt;川瀬&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 私も出席して、みんな自分のことばかり言うので大変だなと感じていた。ただ川島線に限っては色々事情があるだろうが、起点と終点の場所が違うというのは数聞いているので、ここをなんとか。</li> </ul>

<宝島>

- 鶺鴒沼の辺は65歳以上が4分の1になった中で、特にあの地域は交通弱者で交通手段が無いので、そういうところをうまく配慮していただいているのがこういうところから分かるので、素直に皆さんに伝わるんじゃないかと思う。もちろん毎年毎年歳をとって行くわけだから、先ほどの地域の年齢構成に当てはめてみると、ぴったり一致するのではないかと予測していて、事務局の方が大変ご苦労なさったなど、大変ありがたいことだと思う。

<清水>

- 私は岐阜バスコミュニティさんには大変お世話になって、ぜひぜひ継続して運行していただきたい。ふれあいバス、路線バス、本当にたくさん走っている良い町だと思って、ますます弱者が増えるばかりの地域だからこの状況をずっと続いていくことを願って、ただ願っているだけ、「市はもっとこうせよ」と言うだけではなくて、自分たちも動かなくてはということで、様々なことを行ってきた。ネットワーク八木山というのを配っていただいたが、私どもは自らバスを利用して、利用しやすいバスになっていくと、つまり買い物に困る、通院に困る、誰かに頼むのではなく、バスを使えば行けるんだと、自立して生きていけるんだと、弱る前に若い内からバスを利用して生活する習慣にしましょうよということと呼びかけている。ここに書いたように、良いバスが走っているので、どうやって利用するのかと「バス利用名人」の紹介を載せた。この人たちは80代・90代だが本当に上手に使っていて、人に時刻も教えてやると言っているくらい。自分の乗りたい時にバスが無いと言っているのではなく、時刻表に合わせて生活をしていると言っている。そういった姿勢を他の住民にも広めたいと思っていて、このような努力をしている。バスの利用者が上がったという結果を期待していたが、路線バス、岐阜バスコミュニティさんの時刻表を大きな字で書いて各戸に配布をした。こんな風に走っているなら乗ってみようと思えるように。また近々平和堂や近くの医院にもバスの時刻をベタッと張ってもらえるように持って行こうと思っている。バスを利用すれば便利なんだ、動けるんだ、いつまでも動ける人々にしていきたいと願って私は活動している。いつも市の方には大変ご苦労していただいております。

報告④

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p>&lt;委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● これに関して異議があるわけではないが、手続き上の確認だが、上の方で議事として認めているケースと、今回これは報告となっているが、手続き上問題ないか？</li></ul>	<p>&lt;事務局&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 既に異動された岐阜運輸支局の担当の方と話し、運行エリアが広がる、路線が延伸するというについては協議事項に挙げていただきたいということだったが、今回既存の中で更にダイヤの改正もないというものなので、報告事項で問題ないということだった。</li></ul>

報告⑤

※委員からの質問や指摘事項は、なし

## 説明補足

<岐阜バスコミュニティ 大野>

ただいまの各務原東部線の再編については、事務局の方から詳細にわたり報告があったとおり。私共一企業におきましては、年間一千万の補助金を頂いているが、毎年700-800万以上の赤字をずっと続けているということは、大変苦しい状況であるということは皆さんご理解いただきたい。しかしながら、この路線については我々検討する必要があるなと思いながら運行し続けてきた。今年4月各務原市の方から「何とか残してくれ」「中央病院へのアクセスを確保して欲しい」という非常に強い要望を頂いた。私共もふれあいバスとの乗り継ぎとか色々考えてみますと、おっしゃる意味もそうだなという事で、市の方と良い方法がないかと。費用を、これ以上赤字を増やさないで、大変な運転手不足で私たちも悩んでいるが、乗務員数を増やさないで何とかできる方法がないか、具体的に言うと例えば今現状の本数が適正であるか、そういったことを含めながら今検討している最中。次回の公共交通会議の場でこんなことをしたらいいかだろうかと案を出して行きたいと思っております。今日はお示しできないが、私たちも一生懸命考えておりますので、今のところご理解いただきたい。

※委員からの質問や指摘事項は、なし

## 倉内先生 総括

今日の一連の議論を踏まえまして、少しだけコメントさせていただこうと思います。

一点目。議事の中でも説明がございましたとおり、懇談会の意見を踏まえてそれに対して改善をと、そういった意味では利用者の目線、住民の方の目線を持って改善されていかれているということで非常に良いことじゃないかと思えますし、その中でおそらくここに出て来ないようなご苦労があったと思えます。そういったところは事務局の方本当にお疲れ様でした。実は出来たことだけ報告しても問題で、出来ていないことをこの会議の中で皆さんと議論しないといけないと感じていまして、分厚い報告書の中のコメントについて出来ていること出来ていないこと、出来ていないことの中でもなかなか個別の意見で対応が難しいものもあれば、それ以外のように台数を増やすことが今のところは簡単ではないかなといったような、そういった形で問題の質をグルーピングしたりしながら、今後どういったことが出来るのか、出来ていないことでも出来そうなことは何なのか整理して行っていただいて、次回の会議で議論できれば良いかなというふうに思っております。

あとは評価と言いましょか乗降調査の結果、サービス水準の評価というところで二点ほどコメントさせていただきたいんですが、一点目は、20万人というのを目標にしつつぎりぎり届いていない、これをやったらもう少しでいけそうだぞというところは、それはそれで喜ばしいところではあるんですが、だいぶ前の会議にもコメントさせていただいたんですけど今回乗り継ぎを前提に動いていますので、見た目上増えるのは当然じゃないですか？というコメントを以前させていただいております。そういったところもありますので、20万人というのは一つの目標であるとしてもそれ以上はやはりどんどん増やしていく為にご努力を、やらなきゃいけないという意識を持ち続けていただきたいと思えます。もう一点は、これもずいぶん前の交通会議でコメントをさせていただいているんですけども、デマンドっていうようなエリアを設定してそういったことをやったりとか、住民の声を受けてバス停を動かすというようなことをやって行く中で、先ほどの委員の中の方から「利用者・住民の方がこういったものを残して生きたいんだということを考えていかないといけない」そのためには何がしかの利用の評価と言いましょか、そういったことを考えていく時期になって来ているのかなと思えます。要は路線としてきちんと目線を持って状況をお知らせすることと、その中で住民の方ってどういったことが出来るのかということを考えるきっかけになるような、そういった資料も出していかないといけないと思えますし、例えば岐阜市で言うとコミュニティバスに関してはある一定の収支率で無いといけないとだめだよなといったような指標を持っています。それが良いとはいいませんけれども、お金が大事ではないと思えます。要はどれだけの人が利用できているか、それはもちろんサービスが良いから、悪いから出来てない可能性もありますし、そうじゃないことも問題かも知れませんが、そういったことが見えるようなそういう指標が見えるような、そういう指標をぜひ今後検討していただければ良いなと思っております。

どんどんこれからも改善されていくということですので、今後ともよろしく願います。以上です。